

# Taiwan Philharmonic 台湾 フィルハーモニック



國家表演藝術中心 National Performing Arts Center

## 台湾が世界に誇るトップ・オーケストラ

プザンソン&コンドラシン・コンクール優勝、  
ヨーロッパの歌劇場音楽総監督を歴任した巨匠

指揮: リュウ・シャオチャ

(呂紹嘉/台湾フィルハーモニック音楽監督)

Conductor: Shao-Chia Lü (Taiwan Philharmonic, Music Director)

### Program

芥川也寸志: 交響管弦楽のための音楽

Yasushi Akutagawa: Musica per Orchestra Sinfonica

メンデルスゾーン: ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 Op. 64

(ヴァイオリン: リチャード・リン 林品任)

Felix Mendelssohn-Bartholdy: Violin Concerto E minor, Op. 64 (Richard Lin, Violin)

江文也: 台湾舞曲 Op. 1

Wen-Ye Jiang (1910-1983): Formosan Dance, Op. 1

シベリウス: 交響曲 第2番 ニ長調 Op. 43

Jean Sibelius: Symphony No. 2 in D major, Op. 43

2018年、難関で知られる

インディアナポリス国際ヴァイオリン・コンクール優勝!

ヴァイオリン: リチャード・リン (林品任)

Violin: Richard Lin

東京公演  
2019 4.30 (火・休)  
14:00開演 (13:30開場)

東京文化会館 大ホール

大阪公演  
2019 5.6 (月・休)  
14:00開演 (13:00開場)

ザ・シンフォニーホール

発売日: 2018年11月25日(日)  
[Sinfonia会員先行: 11月22日(木)]

料金(全席指定) S席 ¥7,000 A席 ¥6,000 B席 ¥5,000(税込)

お問合せ: 株式会社アスペン 03-5467-0081

主催: 株式会社アスペン/ザ・シンフォニーホール(5月6日大阪公演)

後援: 台北駐日経済文化代表処・台北駐大阪経済文化弁事処・台湾文化センター/公益財団法人日本台湾交流協会

オフィシャル・エアライン: CHINA AIRLINES ツアー協賛: PEGATRON

※やむを得ず、公演の内容が一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。

Aspen





## ヨーロッパで活躍する巨匠リュウ・シャオチャ率いる台湾フィルハーモニック、6年振りの日本公演。その黄金時代を、俊英リチャード・リンのソロと共に聴く！

1986年に設立された台湾フィルハーモニックは、台湾の文化の発展と聴衆の啓発のため、国立オーケストラとして積極的な活動を行ってきた(台湾では、「NSO 國家交響樂團 National Symphony Orchestra」の名称)。マゼール、バルシャイ、スラットキン、ホグウッドらが指揮台に立ち、2008～10年にはギンター・ヘルビヒが芸術アドバイザー&首席客演指揮者として演奏レベル向上とレパートリーの拡大を推進し、コンサートのみならずコヴェント・ガーデンなどとオペラの共同制作も積極的に行ってきた。2010年、音楽監督に就任したリュウ・シャオチャはヨーロッパのオペラハウスやコンサートホールでの豊かな経験で、台湾フィルハーモニックの更なる目覚ましい成長を成し遂げ、その黄金時代を謳歌している。今回は台湾と日本を代表する作曲家の作品、台湾を代表するヴァイオリニストで2018年難関で知られるインディアナポリス国際ヴァイオリン・コンクールを制したリチャード・リンによるメンデルスゾーン、そしてマエストロが最も得意とするシベリウスの交響曲第2番をメインという鉄壁のプログラムでその真価を問う！



©Yung nien Wang

### リュウ・シャオチャ (呂紹嘉) / 指揮 | 台湾フィルハーモニック音楽監督

Shao-Chia Lü, Conductor (Taiwan Philharmonic, Music Director)

1960年台湾生まれ。台北、ウィーンなどで音楽を学ぶ。プザンソン国際コンクール(フランス)、コンドラシン国際指揮者コンクール(オランダ)などで優勝。1994年チェリビダッケの代役でミュンヘン・フィルを指揮し高い評価を得た。ヨーロッパではオスロ・フィル、サンタ・チェチーリア国立管、フランス国立管、シュトゥットガルト放送響、ベルリン放送響、コンセルトヘボウ管など、アジアではN響、新日本フィルなどに客演、世界各国で指揮活動を行っている。オペラではハノーファー州立歌劇場などドイツのオペラ・ハウスで音楽総監督を歴任。イングリッシュ・ナショナル・オペラ、ブリュッセル・モネ劇場、イェーテボリ歌劇場、フランクフルト歌劇場、ハンブルク州立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラなど世界の著名なオペラ・ハウスで客演指揮してきた。2010年から台湾フィルハーモニックNSO(国家交響樂團)の音楽監督をつとめている。



### リチャード・リン (林品任) / ヴァイオリン

Richard Lin, Violin

台湾系アメリカ人ヴァイオリニスト、「クライスラーやハイフェッツら古い流派の持つ「黄金の音色」を受け継ぐ俊才」と評される注目のアーティストである。1991年、アリゾナ・フェニックス生まれ。台湾で育ち、4歳の時にヴァイオリンを学び始めた。16歳の時、グレゴリー・リーとともに渡米し、フィラデルフィアのカーティス音楽院にて、名匠アロン・ローザンドに師事。2013年第5回仙台国際音楽コンクールで優勝(および聴衆賞を受賞)し、国内外の注目を浴びる。現在、ジュリアード音楽院修士課程で名教師ルイス・カブランに師事している。2018年9月、若手ヴァイオリニストの登竜門として難関で知られる第10回インディアナポリス国際ヴァイオリン・コンクールで見事優勝。



### 台湾フィルハーモニック (臺灣愛樂)

Taiwan Philharmonic

1986年に設立された台湾フィルハーモニックは、アジア地域で最もレベルの高いオーケストラの一つとして賞賛され、2014年には国家音楽院(ナショナル・パフォーミング・アーツ・センター)のレジデント・オーケストラとなった。2010年、欧米でも活躍するリュウ・シャオチャが5代目の音楽監督に就任し、黄金時代を創り出している。毎年約75回のコンサート、室内リサイタルと1回のオペラ・プロダクションを40週間に渡り披露している。また、教育プログラムやアウトリーチ・プロジェクトも積極的に行い、台湾国内の他、ウィーン、パリ、ベルリン、ジュネーブ、ミラノ、シンガポール、クアラルンプール、東京、横浜、香港、中国など世界各地でツアーを行っています。これまでに指揮者ではホグウッド、マゼール、スラットキン等、ソリストでは、レーピン、ハーン、マ、マイヤー等と共演。アジアを代表するオーケストラの一つとして積極的に演奏活動を行っている。

チケット取扱い

【4/30東京公演】 チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード 129-346) e+(イープラス) <http://eplus.jp/>

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 ※10-18時(休館日を除く) アスペン 03-5467-0081

【5/6大阪公演】 チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード 135-100) e+(イープラス) <http://eplus.jp/symphonyhall/>(パソコン・携帯)

ローソンチケット 0570-084-005[Lコード: 52802] 0570-000-407(オペレーター対応 10:00~20:00)

ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 ※10-18時(火曜定休) <http://www.symphonyhall.jp/>